

## 教育改善提案計画調書

所属学科名 (または所属課又は団体名) 底力教育推進センター

応募者氏名(代表者氏名) 藤原正範

(注) 枠は適宜移動して下さい。ただし全体でA4で2枚までとします。  
記述は12ポイントでお願いします。

1. 提案名	全学科共通プレズメントテストの作成と実施
2. 目的と効果など	<p>本学の学生は将来医療専門職となることを目指して入学してきているが、少なくない学生がその資格を取得するについて、学力面、適性面で自信が持てず、不安な状態にある。その中には、学習へのモチベーションを早期に失う学生もいる。底力教育推進センターは、入学後早期に医療人として求められる基礎教育、キャリア教育を全学部、学科共通に行うことを目的として設立され、平成 26 年度から、同センターが中心となって医療人底力実践という体験型学習をはじめとする新しいカリキュラムがスタートすることになった。</p> <p>底力教育の目指す教育の展開には、学生に高等学校までの学力が一定程度あることが求められる。その学力が著しく欠けている場合、いくらいい教育内容を用意しても一人ひとりの学生の力にはならない。過去、実施したプレズメントテスト(業者作成のもの)の結果を見ると、残念ながら、学力に相当問題のある学生が相当数存在することが明らかになっている。</p> <p>本提案は、以上述べたことを前提として、入学した学生の総合的基礎学力を計るための鈴鹿医療科学大学独自のツール推進センターが行うべきことは次のようなことであると考えている。</p> <p>(1)一人ひとりの学生の基礎学力を各学部、学科に知らせ、各学部、学科と協力して、各専門領域の必要教科が著しく低位な学生のためのリメディアルクラスの設置を検討する。</p> <p>(2)学力が全般的に低位な学生は早期に学習意欲を失う可能性が高いと考えられるので、医療人底力実践(基礎Ⅰ・Ⅱ)において担任教員が十分な配慮(個別指導)を行い、学ぶ楽しさを育てていくようにする(体験型学習は学力の低い学生のモチベーション向上にいい効果が期待できる)。</p> <p>(3)学生の基礎学力データは、各学部、学科の進路指導等に活用できる。</p>